えのききょうし　ろう
榎 恭 志 郎

生 年 月　1984年11月高知県生まれ
最終学歴　2009年神戸大学大学院
　　建築学専攻修了
業務経歴　2009年㈱大建設計入社
　　現在、大阪事務所
　　第１設計室

●担当した主なプロジェクト
2012年　呉市民ホール
2014年　ユニゾイン神戸三宮
2016年　四国中央市新庁舎
2016年　大阪府立吹田東高等学校
2018年　JRクレメントイン高知
2018年　長岡京市新庁舎

■青年技術者のことば

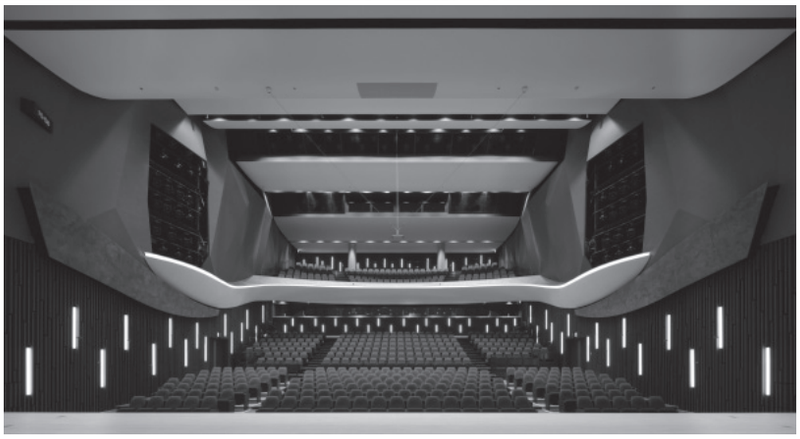
建築において最も重要なことは、「ユーザーが使いやすいこと」だと考えています。使いやすい建築、便利な都市、過ごしやすい環境。これが達成できないとユーザーからは評価されず、愛される空間とはならないと考えています。すべてのデザインはこれに収束するよう心がけています。施主の要望について、いかなる無理難題も真摯に受け止め、機能性や安全性を両立させることで新たな空間や快適性につながると考えています。

今現在、社会的に求められているものとして、SDGsの目標を守ることは勿論、建築としては「居心地が良く人にとってストレスのない空間、環境にとってストレスのない建築」にすることだと考えています。空間構成や動線、内外装、サインに至るまでストレスを如何に無くし、居心地のよい空間づくりを大事にしています。

現在、設計の範疇としては、建築単体になり、社会への影響はまだ微々たるものだと思いますが、将来的にこの建築に対する考え方が都市全体に反映されるようになり、ストレスがなく居心地のよい都市、環境にしたいと考えています。人と人、人と環境との居心地のよい関係性について時代の変化に常にアンテナを張り、社会の求める空間、これから目指すべき空間とは何か模索しながら、設計活動を行って行きたいと考えています。

■すいせん者

静　茂夫
㈱大建設計　大阪事務所
第１設計室　室長



呉市民ホール

大阪府立吹田東高等学校